



福間 博史 建設部門（河川、砂防及び海岸／建設環境）／環境部門（自然環境保全）

勤務先：日本データサービス株式会社

私は島根県松江市に生まれ、北海道の風土にあこがれに来道しました。1992年（平成4年）に現在の会社に入社し、建設コンサルタントとして緑化や環境保全、防災分野の調査、計画立案に携わってきました。入社以来のテーマに火山での泥流痕跡調査があります。80年以上前の噴火で発生した泥流の流下特性を把握し、その情報を対策施設の計画検討に活用すべく始まった仕事です。現地に残る痕跡や、被災後に回復した植生の分布の違いを調べてGISで整理し、場所による泥流の流れの強弱を推測しました。このように、どの分野においても「植物を指標に立地環境の特性を把握する」という視点に立ち、技術力の研鑽に努めてまいりました。

休日は、Jリーグ「コンサドーレ札幌」のサポーターとして家族観戦しています。日韓ワールドカップを札幌ドームで観戦し、その盛り上がり各国スポーツ文化に感動し、いつかサッカー文化を通じた地域振興の仕事に携われないかと夢を抱きました。しかし、現実的には、「専門知識を一般の方に分かりやすく伝える能力を持つこと」が目の前の夢です。このため「サイエンスカフェ札幌」を開催される、北海道大学の「科学技術コミュニケーター養成ユニット（CoSTEP）」で、科学技術を一般の方に伝えるための知識を勉強しております。

様々な方々との出会いから多様な知識を学ぶことで技術士としての資質を高めていきたいと考えておりますので、皆様、今後ともよろしくご厚意申し上げます。



次号は、中原 修さん（建設部門）



林 和虎 建設部門（鋼構造・コンクリート）

勤務先：株式会社 中神土木設計事務所

私の略歴を紹介させていただきます。1962年（昭和37年）北見市で生まれ、大学卒業まで北見で過ごしました。1985年（昭和60年）にクボタ建設(株)に入社し、平成2年に株式会社中神土木設計事務所に移り現在に至ります。主にコンクリート構造物の設計に従事し、平成16年度に技術士建設部門（鋼・コンクリート）及びコンクリート診断士試験に合格しました。

現在主に従事しているのはコンクリート構造物の診断業務です。その対象も橋梁に始まり擁壁、函渠工、水道施設等と多岐にわたり行っています。感じることは、コンクリート構造物の性能は材料・設計のみならず施工結果と使用環境に左右されるものであり、決して竣工年月には大きく左右されないことです。コンクリート診断は、人間の健康診断によく比喻される通り、生まれつきの身体の強さの外に健康維持への努力とその逆の不摂生により寿命が大きく変化します。現場で直接構造物を築造していた為、施工に問題があると判定されるものについては、自身の経験を思い起こしつつ診断を実施しているところです。その結果をいかに平易な言葉で多くの人に伝えるかが鍵であると考え、決して独りよがりな高度な技術は通用しないものと考えます。技術士となった今、自分に出来る事、やらなければいけない事の責任の重さを感じながら、今後益々日々精進を重ねる所存です。



次号は、本間美樹治さん（建設部門）